



AIN PHARMACIEZ

---

第 4 4 期 株 主 通 信

---

平成24年5月1日～平成25年4月30日

---

Financial Report

[新・アイン宣言]

# 今日に応えるチカラ。明日を支えるチカラ。

まず、社員が幸せを感じられる会社でありたい。

自ら挑戦でき、新しい形を創れる仕事場でありたい。

すべては、お客様の元気と笑顔のために。

私たちは、“進化を続ける「いちばん」のグループ”を目指します。

平成24年8月、新しいコーポレートアイデンティティ [新・アイン宣言] を導入しました。

お客様一人ひとりの今日の願い、明日への想いに応えることを目標に、

これからも進化を続けてまいります。

## ごあいさつ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

平素は、当社に温かいご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、第44期（平成24年5月1日から平成25年4月30日まで）の決算が終了いたしましたので、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

わが国の経済は、輸出環境の改善、経済対策及び金融政策の効果を背景として、次第に景気回復へ向かうことが期待されております。

このような環境下、当社グループは新規出店およびM&Aにより、調剤薬局及び都市型ドラッグストア事業の拡大を推進するとともに、医療モールの総合開発、既存店の活性化等、新たな取り組みを開始いたしました。

今後も一層の企業価値向上に取り組む所存でございますので、株主の皆様におかれましては、何卒ご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 **大谷喜一**

Q 今期の業績はいかがでしたか。

売上高はM&Aを含む83店舗の出店により前期比8.2%の増加となったものの、経常利益は医療モールへの投資等により前期比2.4%の減少となりました。

医薬事業におきましては、平成24年4月に実施された平均薬価6.25%の引き下げと調剤報酬改定の影響により、調剤薬局既存店売上高は横ばいとなったものの、グループ全体でM&Aを含み76店舗を出店したことで、売上高は前期比8.0%の増加となりました。

物販事業の既存店売上高は前期をわずかに下回ったものの、前期出店の店舗が通年貢献したことにより売上高は前期比8.7%の増加となりました。

その結果、売上高は1,545億6千万円（前期比8.2%増）となりましたが、医療モール開発事業における先行投資等の影響により、経常利益は102億9千2百万円（同2.4%減）、当期純利益は50億7千5百万円（同3.6%増）となりました。また、グループの店舗総数は621店舗（前期比71店舗増）（※1）となりました。

（※1）平成25年4月期末時点

Q 医薬事業の展開についてどのようにお考えですか。

大型の門前型薬局・医療モール型薬局の新規出店及びM&Aを中心に、事業拡大を目指します。

調剤薬局市場は6兆円を超えた現在も拡大を続けています。当社ではこれまでと同様、患者様の利便性に優れた門前型薬局（※2）を中心に、積極的な出店とM&Aにより事業規模及び出店エリアの拡大を継続いたします。また、医療モール型薬局（※3）については近畿日本鉄道株式会社との取り組みで、高さ日本一となる超高層複合ビル「あべのハルカス」（大阪市：地上60階、地下5階）に日本最大級のメディカルフロアを開業する予定となっています。（平成26年4月開業予定）

また、平成25年4月に厚生労働省よりジェネリック医薬品の使用促進策を盛り込んだロードマップが公表され、国際基準で数量シェア60%以上（※4）という新たな目標が設定されました。国の使用促進姿勢がより明確になる中、当社では100%子会社の株式会社ホールセールスターズ（ジェネリック医薬品専門卸）とともに、これまで以上に積極的に推奨していく方針です。

（※2）門前型薬局：医療機関の近隣に立地する保険調剤薬局

（※3）医療モール型薬局：医療モールを開発し、その近隣に併設する保険調剤薬局

（※4）旧指標では34.3%



物販事業の展開について  
どのようにお考えですか。

都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」の新規出店及び不採算店舗の見直しを図ります。

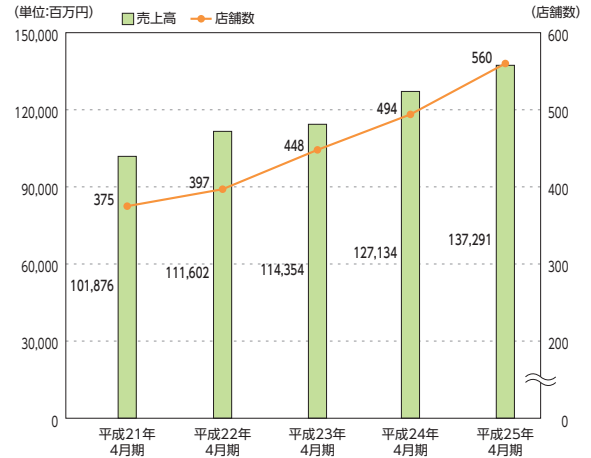
物販事業では、「アインズ&トルペ」の「ドラッグ&コスメティックショップ」としてのショップコンセプトを明確に顧客提案するため、医薬品及びコスメティック関連商品を中心にマーチャンダイジング（※5）を継続的に改善し、販売力の強化及び粗利益率の向上を図り前期に引き続き黒字となりました。

また、販売促進においてはアインズポイントクラブのモバイルシステム化を推進いたしました。モバイル会員の購買頻度は高く、平成25年4月末時点で22万7千人が会員となっております。

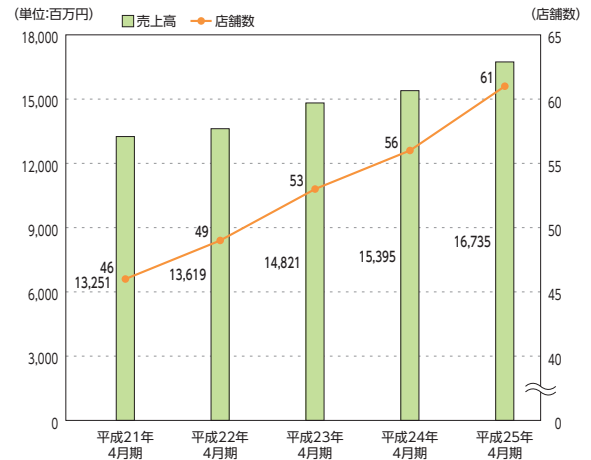
今後もコスメティック商品を中心に美容に関する様々な商品を取りそろえ、最新の流行とともにバラエティ性の高い店舗コンセプトで展開する都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」の新規出店による売上規模の拡大を目指します。また、不採算店舗の見直しを行うことで、収益を拡大すべく運営手法の改善を進めてまいります。

（※5）マーチャンダイジング：お客さまのニーズにお応えできる商品を、適切な数量・価格で提供するマーケティング活動

### 医薬事業 売上高・店舗数の推移



### 物販事業 売上高・店舗数の推移



### 医薬事業 Pharmacy Business



医薬事業では、平成24年4月に行われた薬価引き下げ及び調剤報酬改定のマイナス影響の中で、新規出店、投資回収性を重視したM&Aにより着実に売上高を確保するとともに医療モール型薬局の出店を本格的に開始いたしました。また、既存店においては「生産性の向上」を目的とし、調剤プロセス・薬局管理方法の抜本的な再構築に向けて取り組みを開始いたしました。

当連結会計年度は、M&Aによる11社の子会社化を含め76店舗の出店を行い、当社グループにおける調剤薬局数は560店舗となりました。その結果、売上高は1,372億9千1百万円（前期比8.0%増）となり、セグメント利益は126億5千5百万円（同3.0%増）となりました。

## topics

医薬事業では患者さま一人ひとりの今日の願い、明日への想いに応えることのできる薬局となるべく、平成24年8月にBPR（※）ステージ2『考える薬局プロジェクト』を発足いたしました。主に「薬局での待ち時間の短縮」「薬の在庫管理見直し」「薬局業務の効率性向上」の3点を軸に、患者さまのチカラになれる薬局づくりを再度根本から考え直し取り組んでおります。平成25年7月現在、モデル店舗で実施・検証を行い、各店舗への水平展開を開始しております。

（※）BPR：Business Process Reengineering「業務の構造改革」  
BPRステージ1は平成21年に実施



店舗スタッフの適正配置を指示するオペレーター



新店舗デザイン（アイン薬局東苗穂店）

## The conversion to next stage

### 新しいステージへの転換

患者さまの幅広いニーズにお応えするため  
新しいかたちの薬局展開及びシステムの導入を進めております。

#### 英語対応薬局

平成24年10月、外資系企業が多い東京都千代田区大手町エリアにて、英語に堪能な薬剤師が常勤する英語対応薬局を開局いたしました。薬局内の表示、掲示物、お薬の説明書、お薬の説明を全て英語で対応しております。



アイン薬局大手町店

#### タブレット端末を使用したお薬の説明

待合室の席でのお薬説明、緊急時の電話相談など患者さまの様々なニーズに的確にお応えできるよう、一部店舗ではタブレット端末を利用したお薬の説明を開始いたしました。今後、在宅医療にも導入し、患者さまがより安心できる医療を目指します。



タブレット端末用お薬情報管理アプリ「<sup>グー</sup> <sup>ー</sup> <sup>コ</sup>」使用例

### 物販事業

Health & Beauty Business



物販事業では、異業種の参入、同業の同質化及び価格競争など厳しい市場環境が続く中、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」の新規出店の継続と、既存店の集客強化による収益確保に努めてまいりました。また販売促進においてはスマートフォンアプリケーション「スマポ」への参加、アインズポイントクラブのモバイル化を推進いたしました。モバイル会員は総じて購買頻度が高いため今後も会員獲得を推進し、リピート効果と費用効率の向上を目指してまいります。

当連結会計年度は駅ナカ商業施設、駅前の好立地を対象として「丸井錦糸町店」「渋谷センター街店」「横浜ポルタ店」「京都アバンティ店」を含む7店舗を出店し、総店舗数は61店舗となりました。その結果、売上高は167億3千5百万円（前期比8.7%増）となり、セグメント利益は1千4百万円（同88.6%減）となりました。

## topics

平成24年1月より当社の強みである薬剤師の専門知識を生かし、医薬品のPB（プライベートブランド）商品開発を株式会社セブン美のガーデン（※）と共同で進めてまいりました。

また化粧品においては女性に人気の化粧品ブランド株式会社ドクターシーラボとコラボレーションし、従来商品に美肌成分を加えた化粧品「アクアコラーゲングルスーパーモイスターEX ダマスクローズ」を平成25年7月より発売しております。

「お客さまの元気と笑顔のために。」商品を通じて、お客さまの美しさと健康に関するニーズに自信を持って応えていきます。

（※）株式会社セブン&アイHLDGS.のグループ会社



株式会社セブン美のガーデンと共同開発した「7つの素材と国産大麦若葉の青汁」と「漢方葛根湯エキス顆粒S II」



株式会社ドクターシーラボとコラボレーションした「アクアコラーゲングルスーパーモイスターEX ダマスクローズ」



# アイズ&トルペ

## Fresh information dispatch source

—フレッシュな情報発信でお客さまに元気と笑顔を—

自分らしく、美しく生きる。そんな幸せをお届けしたい。  
だからフレッシュな情報発信と元気がでるお店づくりに取り組んでいます。



来店ポイントがたまるアプリケーション

「スマホ」によりポイントを付与することで来店を促し、店舗とお客さまのつながりをさらに深めていきます。



ライン  
LINEを通じての情報発信

「LINE」は、国内最大級のスマートフォン向け無料通話、無料メールアプリです。

公式アカウントからアイズ&トルペ等の各店舗を登録することで店舗ごとのタイムリーなお得情報を提供しています。

より居心地のよい空間へ

時間をかけてじっくりと商品選びを楽しみたいお客さまが気持ちよく過ごしていただけるよう、明るく清潔感のある店舗デザインを心がけています。



渋谷センター街店（東京都渋谷区）



自由が丘店（東京都目黒区）

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成24年4月30日現在)	当連結会計年度 (平成25年4月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流 動 資 産	40,320	43,162
現金及び預金	15,935	18,460
受取手形及び売掛金	10,985	7,043
商 品	8,138	7,816
貯 蔵 品	114	127
繰延税金資産	891	955
未 収 入 金	2,757	7,180
そ の 他	1,523	1,587
貸 倒 引 当 金	△ 26	△ 9
固 定 資 産	45,570	52,676
有 形 固 定 資 産	15,256	17,550
建物及び構築物	7,048	8,247
土 地	5,621	6,030
建設仮勘定	824	1,101
そ の 他	1,761	2,169
無 形 固 定 資 産	18,655	20,605
の れ ん	17,664	19,574
そ の 他	990	1,031
投 資 そ の 他 の 資 産	11,657	14,520
投 資 有 価 証 券	2,825	2,789
繰延税金資産	1,122	946
敷金及び保証金	5,758	6,985
そ の 他	2,208	4,066
貸 倒 引 当 金	△ 256	△ 267
繰 延 資 産	17	1
株 式 交 付 費	17	1
資 産 合 計	85,908	95,839

科 目	前連結会計年度 (平成24年4月30日現在)	当連結会計年度 (平成25年4月30日現在)
<b>(負債の部)</b>		
流 動 負 債	42,945	45,686
買 掛 金	22,524	24,084
短 期 借 入 金	6,397	7,483
未 払 法 人 税 等	2,739	2,427
預 り 金	7,714	7,906
賞 与 引 当 金	965	1,098
役 員 賞 与 引 当 金	12	12
ポ イ ン ト 引 当 金	302	315
そ の 他	2,288	2,357
固 定 負 債	9,216	11,796
長 期 借 入 金	6,318	8,048
退 職 給 付 引 当 金	1,448	1,659
そ の 他	1,449	2,088
負 債 合 計	52,162	57,483
<b>(純資産の部)</b>		
株 主 資 本	33,976	38,254
資 本 金	8,682	8,682
資 本 剰 余 金	7,872	7,872
利 益 剰 余 金	17,426	21,704
自 己 株 式	△ 5	△ 5
その他の包括利益累計額	△ 281	57
その他有価証券評価差額金	△ 281	57
少 数 株 主 持 分	50	44
純 資 産 合 計	33,745	38,356
負 債 純 資 産 合 計	85,908	95,839

## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (平成23年5月1日から 平成24年4月30日まで)	当連結会計年度 (平成24年5月1日から 平成25年4月30日まで)
売上高	142,790	154,560
売上原価	119,697	130,118
売上総利益	23,093	24,442
販売費及び一般管理費	12,839	14,740
営業利益	10,253	9,701
営業外収益	746	912
営業外費用	452	321
経常利益	10,547	10,292
特別利益	82	210
特別損失	848	808
税金等調整前当期純利益	9,782	9,694
法人税、住民税及び事業税	4,652	4,597
法人税等調整額	228	28
少数株主損益調整前当期純利益	4,901	5,068
少数株主利益	1	△ 6
当期純利益	4,899	5,075

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (平成23年5月1日から 平成24年4月30日まで)	当連結会計年度 (平成24年5月1日から 平成25年4月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,679	10,203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,010	△ 8,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,131	803
現金及び現金同等物の増減額	537	2,504
現金及び現金同等物の期首残高	15,397	15,935
現金及び現金同等物の期末残高	15,935	18,439

## ■ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成24年5月1日から平成25年4月30日まで）

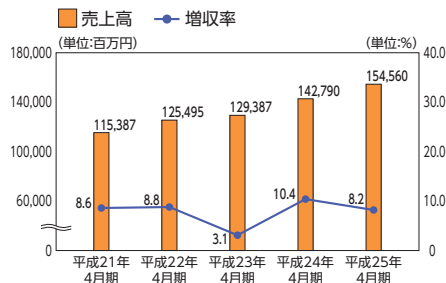
(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
平成24年5月1日 期首残高	8,682	7,872	17,426	△ 5	33,976	△ 281	△ 281	50	33,745
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 797		△ 797				△ 797
当期純利益			5,075		5,075				5,075
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					-	339	339	△ 6	332
連結会計年度中の変動額合計	-	-	4,278	△ 0	4,277	339	339	△ 6	4,610
平成25年4月30日 期末残高	8,682	7,872	21,704	△ 5	38,254	57	57	44	38,356

# 連結財務ハイライト

平成25年4月期

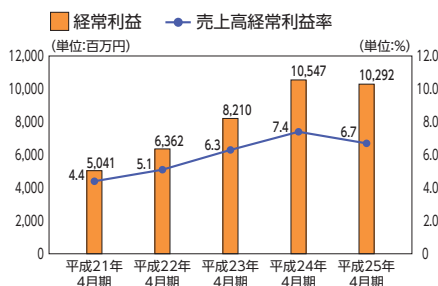
売上高 1,545億6千万円



新規出店、M&Aにより順調に事業拡大し売上高8.2%増（前期比）

売上高は1,545億6千万円となり前期比で8.2%増加しました。これは新規出店やM&Aによる順調な店舗数拡大によるものです。

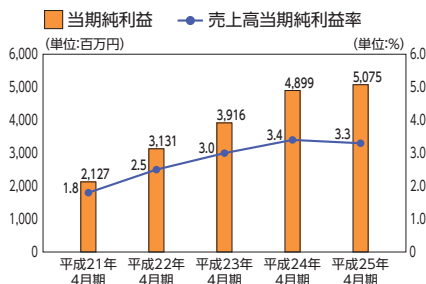
経常利益 102億9千2百万円



医療モール型薬局等の先行投資により経常利益2.4%減（前期比）

経常利益は102億9千2百万円となり前期比で2.4%減少しました。これは医療モール型薬局出店（15店舗）に伴う先行投資によるものです。

当期純利益 50億7千5百万円

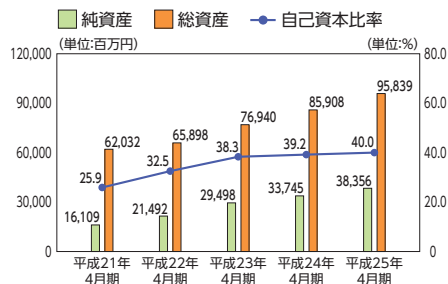


安定した利益確保により純利益3.6%増（前期比）

当期純利益は50億7千5百万円となり前期比で3.6%増加しました。今期はBPRステージ2を推進し、様々なコストの見直し、業務の効率化を図ることで利益の確保を続けてまいります。

平成25年4月期

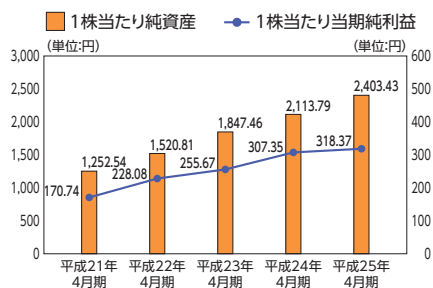
## 純資産 / 総資産 / 自己資本比率

自己資本比率  
0.8ポイント増

## 健全な財務体質の維持により自己資本比率は40.0%に

純資産は383億5千6百万円となり前期比で13.7%増加、総資産は958億3千9百万円となり前期比で11.6%増加しました。同時に健全な財務体質の維持に努め、自己資本比率は40.0%となり前期比0.8ポイント増加しました。

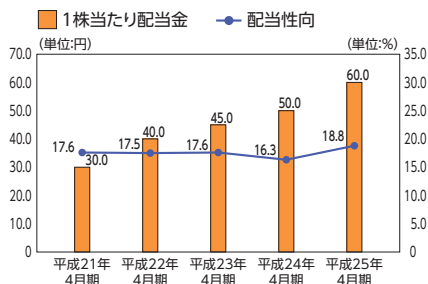
## 1株当たり純資産 / 1株当たり当期純利益

1株当たり純資産  
13.7%増

## 1株当たり純資産及び当期純利益は堅調に増加

1株当たり純資産は2,403円43銭となり前期比13.7%増加、1株当たり当期純利益は318円37銭となり前期比3.6%増加しました。

## 1株当たり配当金 / 配当性向

配当性向  
2.5ポイント増

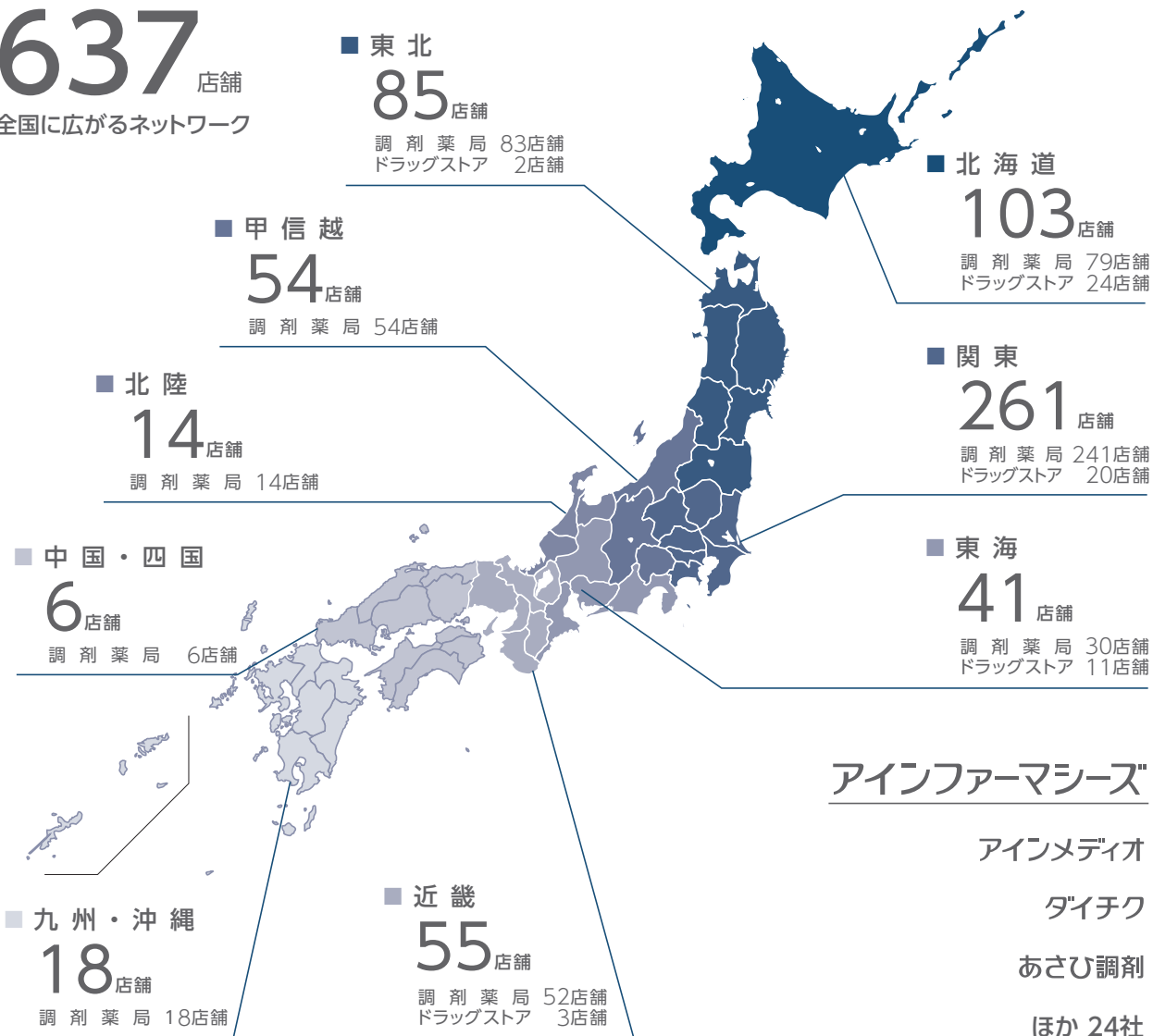
## 配当金は1株当たり60円を配当、配当性向は18.8%に

配当金は前期から10円増の60円となりました。来期は60円を予定しております。これからも継続的な企業成長で株主さまへの還元を行ってまいります。

アイングループ

**637** 店舗

全国に広がるネットワーク



アインファーマシーズ

アインメディオ

ダイチク

あさひ調剤

ほか 24社

商 本 社	号 社	株式会社インファーマシーズ 札幌市東区東苗穂5条1丁目2番1号 TEL (011) 783-0189 (代表)
設 資 本 金	立 業 員	昭和44年8月 86億8,297万円
従 業 員	業 員	3,551名 (連結) 2,273名 (単体)
事 業 内 容	業 内 容	・調剤薬局チェーン アイン薬局 ・ドラッグストアチェーン アインズ アインズ&トルペ トルペ

役員構成	代表取締役社長	大谷 喜一
	代表取締役副社長	南 雲 正
	代表取締役副社長	加藤 博美
	専務取締役	川井 淳一
	専務取締役	櫻井 正人
	専務取締役	首藤 正一
	専務取締役	水島 利英
	取締役	大石 美也
	取締役 (社外)	南 晃
	取締役 (社外)	小林 強
	取締役 (社外)	木内 政雄
	取締役 (社外)	森 洸
	常勤監査役	川村 幸一
	監査役 (社外)	居林 彬
	監査役 (社外)	小林 敏章
	監査役 (社外)	伊藤 友則

(平成25年7月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	15,944,106株
株主数	2,402名
大株主 (上位10名)	

株主名	持株数		持株比率 %
	千株		
大谷 喜一	1,654	10.38	
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 丸紅口	1,240	7.78	
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	1,240	7.78	
株式会社北海道銀行	786	4.93	
ゴールドマン サックス インターナショナル	759	4.76	
ザ チェアスマンハットン バンク エヌエイ ロンドン	501	3.14	
エス エル オムニバス アカウント	500	3.14	
エムエルプロセグレーションアカウント	500	3.14	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	489	3.07	
ジェーピー モルガン チェース バンク 385174	440	2.76	
今川 美明	393	2.47	

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (3,366株) を控除して計算しております。  
 2. みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 丸紅口の所有株式は、丸紅株式会社が退職給付信託として拠出したものであります。

## 株 主 メ モ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで  
 定時株主総会 毎年7月開催  
 基準日 毎年4月30日  
 その他、必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。  
 配当金受領株主確定日 毎年4月30日  
 なお、中間配当を実施する場合の中間配当金受領株主確定日は、10月31日です。

1単元の株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更、単元未満株式の買取・買増等)		みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	上記「特別口座の場合」のお取扱店に加え、みずほ銀行の本店及び全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 ・株券電子化前に名義書換を失念し、お手元に他人名義の株券がある場合は、至急上記電話お問い合わせ先までご連絡ください。 ・特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 ・みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。	

公告方法 電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ(<http://www.ainj.co.jp>)といたします。  
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
 フォントを採用しています。